
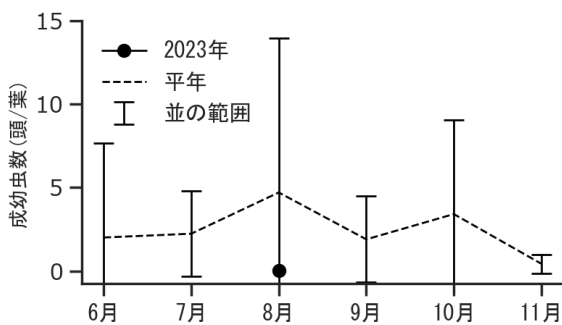


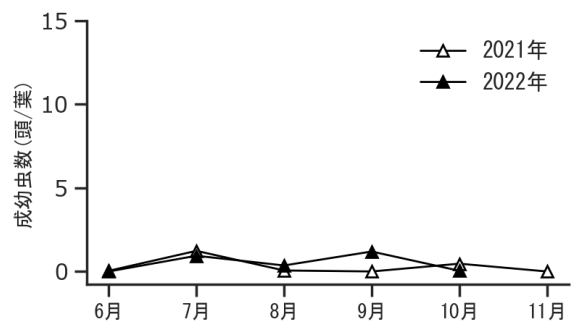
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	8 月からの増減傾向	↘	
	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

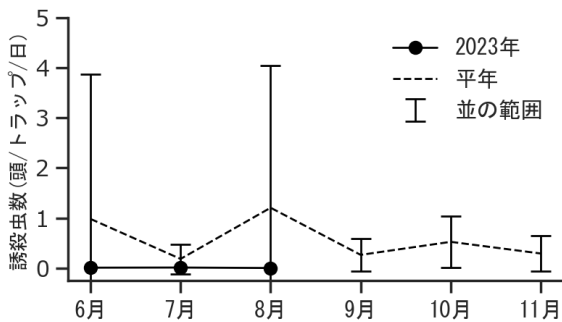
葉当たり成幼虫数の推移 (今期と平年)



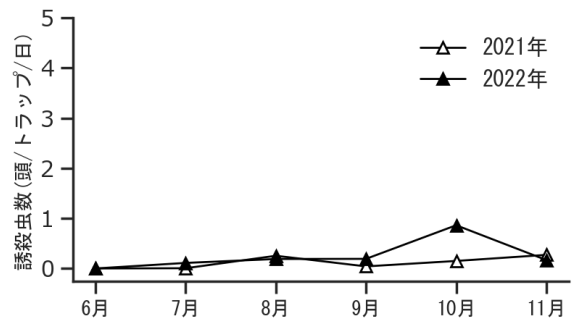
葉当たり成幼虫数の推移 (過去2年)



トラップ当たり誘殺虫数の推移 (今期と平年)



トラップ当たり誘殺虫数の推移 (過去2年)




・発生施設率20.0% (平年 : 71.4%)

防除のポイント

- ・ 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・ コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・ 収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

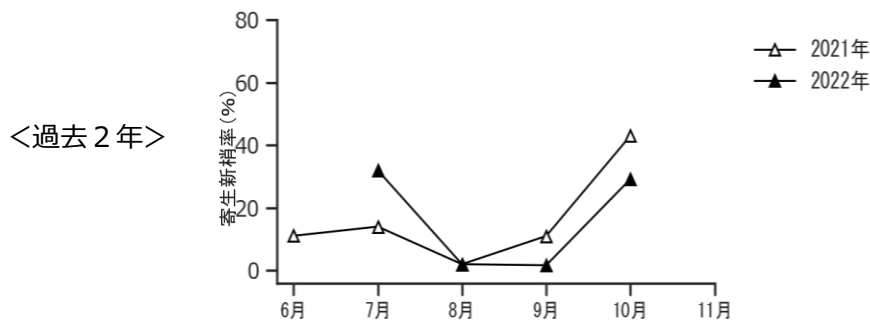
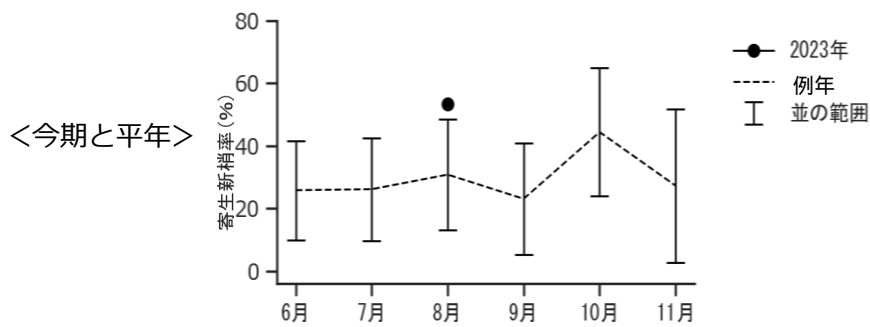


ナガエコミカンソウ

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		例年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

寄生新梢率の推移




・発生施設率80.0% (平年 : 63.3%)

防除のポイント

- ・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
- ・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

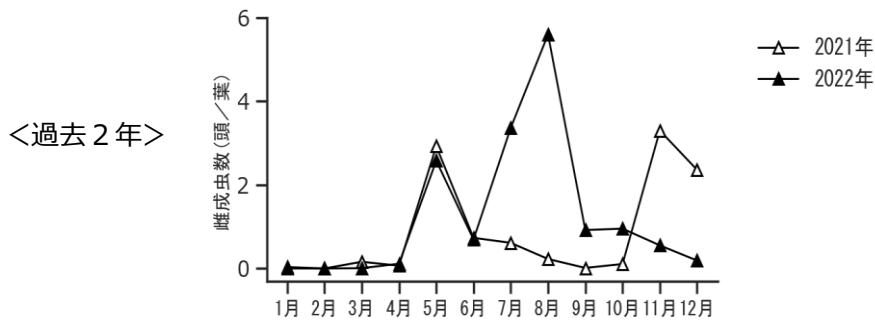
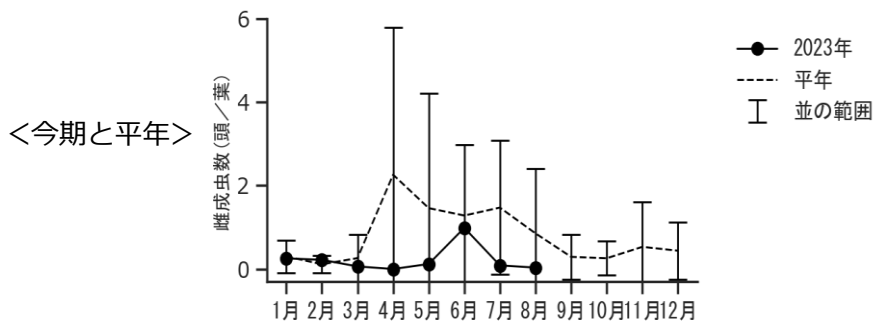


被害葉

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

雌成虫数の推移



- ・ 発生種：シュレイツメハダニ
- ・ 発生施設率20.0% (平年：32.7%)

防除のポイント

- ・ 収穫時、発生が多くみられた施設では早期発見・防除を行う。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状



マンゴーツメハダニ